



## 平成23年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成22年11月12日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 フェヴリナ

コード番号 3726 URL <http://www.favorina.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 遠藤 英樹

問合せ先責任者 (役職名) AFD S.Manager

(氏名) 堀川 大輔

TEL 092-720-5420

四半期報告書提出予定日 平成22年11月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (個人投資家向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成23年3月期第2四半期の業績(平成22年4月1日～平成22年9月30日)

#### (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第2四半期	1,025	△20.7	△14	—	△14	—	△64	—
22年3月期第2四半期	1,292	—	99	—	100	—	58	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第2四半期	△139.47	—
22年3月期第2四半期	124.75	—

#### (2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	円 銭	百万円	円 銭		
23年3月期第2四半期	1,571	—	1,279	—	79.7	2,725.94
22年3月期	1,620	—	1,352	—	81.9	2,885.27

(参考) 自己資本 23年3月期第2四半期 1,253百万円 22年3月期 1,326百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期	—	—	—	—	—
23年3月期	—	—	—	—	—
23年3月期 (予想)	—	—	—	20.00	20.00

(注)当四半期における配当予想の修正有無 無

### 3. 平成23年3月期の業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,176	△12.6	41	△78.3	41	△78.4	0	—	1.85

(注)当四半期における業績予想の修正有無 無

4. その他（詳細は、【添付資料】P. 4「その他の情報」をご覧ください。）

(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 有

(注)簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

(注)「四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 23年3月期2Q 469,866株 22年3月期 469,866株

② 期末自己株式数 23年3月期2Q 10,083株 22年3月期 10,083株

③ 期中平均株式数(四半期累計) 23年3月期2Q 459,783株 22年3月期2Q 459,783株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績予想に関する記述は、当社が本資料の発表日現在で入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は、当社の事業を取り巻く経済情勢、市場動向等に関わる様々な要因により、記述されている業績予想とは異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期の業績等に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. その他の情報 .....	4
(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要 .....	4
(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要 .....	4
3. 四半期財務諸表 .....	5
(1) 四半期貸借対照表 .....	5
(2) 四半期損益計算書 .....	6
(第2四半期累計期間) .....	6
(第2四半期会計期間) .....	7
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	9

## 1. 当四半期の業績等に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する定性的情報

当第2四半期会計期間における経済状況は、中国をはじめとする新興国経済の成長と日本政府の経済政策の効果により、一部の業種においては回復基調にありましたが、景況感の悪化にともなう消費者の節約志向と生活防衛意識が高まるなど、引き続き厳しい経営環境が続きました。

このような環境下におきまして当社は、基幹商品である「ジェルパック」の拡充と「Platinum Rich」の育成を念頭に置き、新規顧客層の拡大と既存顧客層の確保、この2つを軸に事業を進めてまいりました。

まず、新規顧客層の拡大に関しましては、新商品「泡のTOKIMEKI」を雑誌等の紙面に掲載するとともに、新インフォマーシャル・ラジオCMの制作と放送を組み合わせ、顧客獲得の間口を広げてまいりました。その結果、新規顧客獲得数は増加傾向を示しておりますが、依然として続く買い控え傾向により、売上高ともに軟調に推移する結果となりました。

次に、既存顧客層の確保に関しましては、社員に対する「FAVORINA Credo」の浸透活動を通し、カスタマーフレンドの顧客対応技術の向上を図った結果、一定の効果は現れ始めておりますが、収益全体を押し上げるにはいたらず、軟調に推移することとなりました。

今後も、さらに新規顧客数を増加させるべく、インターネット販売の強化とインフォマーシャル・ラジオCMの制作と放送を相互に行い、より多くの方々がフェヴリナ商品に対して購買意欲が持てる広告宣伝活動を積極的に展開していく予定です。

また、確実な固定顧客の囲い込みに注力すべく、引き続きカスタマーフレンドと顧客が深い信頼関係を築けていける環境づくりに努めてまいります。

以上の結果、当第2四半期会計期間の業績は、売上高513,672千円（前年同四半期比14.7%減）、営業利益1,913千円（前年同四半期比95.8%減）、経常利益2,585千円（前年同四半期比94.4%減）、四半期純損失24,983千円（前年同四半期は四半期純利益7,903千円）となりました。

### (2) 財政状態の分析

#### (資産)

当第2四半期会計期間末における資産の残高は1,571,890千円（前事業年度末1,620,075千円）、その内訳は流動資産1,431,519千円、固定資産140,371千円となり、前事業年度末に比べ48,185千円減少いたしました。これは主に現金及び預金の減少34,646千円等によるものであります。

#### (負債)

当第2四半期会計期間末における負債の残高は292,149千円（前事業年度末267,076千円）となり、前事業年度末に比べ25,072千円増加いたしました。これは主に買掛金の増加15,042千円、資産除去債務の計上21,470千円等によるものであります。

#### (純資産)

当第2四半期会計期間末における純資産の残高は1,279,741千円（前事業年度末1,352,999千円）となり、前事業年度末に比べ73,258千円減少いたしました。これは主に四半期純損失として64,127千円を計上したことによります。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は、978,798千円となり、第1四半期会計期間末に比べ36,445千円減少いたしました。

当第2四半期会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果使用された資金は、23,431千円（前年同四半期比62,293千円減）となりました。これは主として、税引前四半期純利益2,585千円の計上のほか、資金収入といたしまして、たな卸資産の減少19,103千円等によるものであります。また、資金支出といたしまして、売上債権の増加8,018千円、仕入債務の減少35,784千円等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用された資金は、6,537千円（前年同四半期比40,509千円増）となりました。これは主として投資有価証券の取得による支出5,917千円、有形固定資産の取得による支出800千円等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用された資金は、6,476千円（前年同四半期比6,242千円減）となりました。これは主に配当金の支払額3,726千円、長期借入金の返済による支出2,499千円等によるものであります。

(3) 業績予想に関する定性的情報

当第2四半期累計期間における業績の進捗を勘案し、業績予想の見直しを行った結果、平成22年5月14日に公表いたしました通期業績予想を下記のとおり修正し、平成22年11月5日に開示いたしました。

平成23年3月期通期の業績予想修正（平成22年4月1日～平成23年3月31日）

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A)	2,790	113	110	107
今回発表予想 (B)	2,176	41	41	0
増減額 (B - A)	△614	△72	△69	△107
増減率 (%)	△22.0	△63.7	△62.7	—
(ご参考) 平成22年3月期	2,489	189	190	131

## 2. その他の情報

### (1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

#### ①一般債権の貸倒見積高の算定方法

貸倒実績率等が前事業年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前事業年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しております。

#### ②棚卸資産の評価方法

棚卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切下げを行う方法によっております。

#### ③固定資産の減価償却費の算定方法

固定資産に係る減価償却費のうち定率法により算定するものについては、当事業年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定しております。

### (2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

第1四半期会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号 平成20年3月31日）及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日）を適用しております。

これにより、当第2四半期累計期間の営業損失、経常損失は2,778千円、税引前四半期純損失は4,168千円増加しております。また、当会計基準等の適用開始による資産除去債務の変動額は21,353千円であります。

3. 四半期財務諸表  
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	当第2四半期会計期間末 (平成22年9月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成22年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,078,798	1,113,444
受取手形及び売掛金	124,883	121,514
商品	189,598	178,887
その他	40,038	78,527
貸倒引当金	△1,799	△1,840
流動資産合計	1,431,519	1,490,532
固定資産		
有形固定資産	73,299	64,914
無形固定資産	10,231	11,401
投資その他の資産	56,840	53,227
固定資産合計	140,371	129,543
資産合計	1,571,890	1,620,075
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	30,521	15,479
短期借入金	—	5,000
1年内返済予定の長期借入金	9,996	9,996
未払法人税等	2,913	4,312
賞与引当金	7,500	9,050
返品調整引当金	3,444	3,355
その他	176,659	178,264
流動負債合計	231,034	225,456
固定負債		
長期借入金	34,173	39,171
資産除去債務	21,470	—
その他	5,471	2,448
固定負債合計	61,114	41,619
負債合計	292,149	267,076
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	882,788	882,788
利益剰余金	399,116	472,439
自己株式	△28,628	△28,628
株主資本合計	1,253,276	1,326,600
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	64	—
評価・換算差額等合計	64	—
新株予約権	26,399	26,399
純資産合計	1,279,741	1,352,999
負債純資産合計	1,571,890	1,620,075

(2) 四半期損益計算書  
(第2四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)
売上高	1,292,654	1,025,302
売上原価	245,522	213,566
売上総利益	1,047,132	811,736
返品調整引当金戻入額	5,890	3,355
返品調整引当金繰入額	4,464	3,444
差引売上総利益	1,048,558	811,647
販売費及び一般管理費	948,686	826,473
営業利益又は営業損失(△)	99,872	△14,826
営業外収益		
受取利息	67	80
受取配当金	—	103
受取補償金	323	738
還付加算金	226	—
その他	179	107
営業外収益合計	796	1,029
営業外費用		
支払利息	142	494
その他	—	1
営業外費用合計	142	495
経常利益又は経常損失(△)	100,525	△14,292
特別利益		
貸倒引当金戻入額	543	—
新株予約権戻入益	1,076	—
特別利益合計	1,619	—
特別損失		
投資有価証券評価損	358	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	1,389
特別損失合計	358	1,389
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	101,787	△15,681
法人税、住民税及び事業税	1,289	1,285
法人税等調整額	41,890	47,160
法人税等合計	43,179	48,445
四半期純利益又は四半期純損失(△)	58,607	△64,127



(第2四半期会計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期会計期間 (自平成21年7月1日 至平成21年9月30日)	当第2四半期会計期間 (自平成22年7月1日 至平成22年9月30日)
売上高	602,055	513,672
売上原価	115,658	107,479
売上総利益	486,397	406,193
返品調整引当金戻入額	4,251	3,220
返品調整引当金繰入額	4,464	3,444
差引売上総利益	486,185	405,969
販売費及び一般管理費	440,808	404,055
営業利益	45,376	1,913
営業外収益		
受取利息	67	79
受取配当金	—	103
受取補償金	115	647
還付加算金	226	—
その他	111	78
営業外収益合計	520	908
営業外費用		
支払利息	69	235
その他	—	1
営業外費用合計	69	236
経常利益	45,828	2,585
特別利益		
新株予約権戻入益	1,076	—
特別利益合計	1,076	—
特別損失		
投資有価証券評価損	358	—
特別損失合計	358	—
税引前四半期純利益	46,546	2,585
法人税、住民税及び事業税	666	666
法人税等調整額	37,976	26,902
法人税等合計	38,642	27,568
四半期純利益又は四半期純損失(△)	7,903	△24,983

## (3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失 (△)	101,787	△15,681
減価償却費	2,777	14,529
投資有価証券評価損益 (△は益)	358	—
新株予約権戻入益	△1,076	—
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△885	△41
返品調整引当金の増減額 (△は減少)	△1,426	88
賞与引当金の増減額 (△は減少)	4,845	△1,550
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	1,389
受取利息及び受取配当金	△67	△183
支払利息	142	494
売上債権の増減額 (△は増加)	41,083	△3,368
たな卸資産の増減額 (△は増加)	23,935	△10,854
その他の資産の増減額 (△は増加)	820	△1,205
仕入債務の増減額 (△は減少)	△49,200	15,042
その他の負債の増減額 (△は減少)	△13,370	7,180
その他	3,238	—
小計	112,962	5,838
利息及び配当金の受取額	67	364
利息の支払額	△145	△545
法人税等の還付額	15,413	25
法人税等の支払額	△1,778	△4,264
営業活動によるキャッシュ・フロー	126,520	1,418
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△3,376	△2,480
無形固定資産の取得による支出	—	△8,900
投資有価証券の取得による支出	—	△5,917
貸付けによる支出	△413	—
貸付金の回収による収入	309	359
差入保証金の差入による支出	△47,456	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△50,937	△16,937
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の返済による支出	—	△5,000
長期借入金の返済による支出	—	△4,998
配当金の支払額	—	△8,630
リース債務の返済による支出	△464	△498
財務活動によるキャッシュ・フロー	△464	△19,126
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	75,117	△34,646
現金及び現金同等物の期首残高	938,788	1,013,444
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,013,905	978,798

(4) 継続企業の前提に関する注記  
該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記  
該当事項はありません。